

廿夕二
日刊
新嘉坡晚報

福島縣石城郡平町細盛町十四
印 刷 所 紙版活版所
福島縣石城郡平町細盛町十五
發 行 所 暫時報社
一部金武錢一夕日金銀治錢
廣告券一券二十四字銀金五十錢
日 刊(日曜祭日)休刊

公民講座

火防宣傳で募集中の如く入賞者の決定した。左頭組消防隊で審査をあげて選ばれた結果は、二月二十日開催の公會で委員長が発表された。標語二百二十八点の中から、多數に達したのは、綴方四十六点、圖書七十二点である。小学校児童から募集した標語その他の募集は、警察署が管内各小学校児童にし、一月二十八日火防宣傳に際して去る。

樂中卒業生

田八以子、
▲三等高二
四等平高二
五等鹿島高

磐城裁判便り

平町細屋町
吉田眼科

老齢職に堪へざるの故を以て郡長を解かれ、
磬炭を馘首された人を、前途洋々たる平町長
に推すやうな事は恐らくあるまい。それ程馬
鹿な町會議員は、吾々は選舉した覺はない
眞偽何れかは知らぬが、青沼氏優勢と聞いて
平町の將來を憂慮し、町議を歴訪してその反
對運動を行つてゐる。いふ町會議員に吾々は共
鳴し感謝する。青沼氏が一日でも町長の椅子
につかば、平町の動脈は硬化するだらう。情
實に支配され頭數を揃へる外何等な事を知
らぬ無能議員の色分けをするのは明日である。
伏見氏とは言はぬ。ただ老齢無能老猾なる青
沼氏を排撃せよ。吾々は絶叫して止まぬ!!

一、商業學校學則變更の件
一、小學校敷地買收費繼續年期
及支出方法の件

つて
なつた人
日平檢事局で通達
小銀治兼弘、名和友次郎、蛭田文藏、荒川藏吉、日渡秀次郎、小松忠太郎、小松房松、大平喜代治、大平直恵、櫛田龜吉、植田町、猪狩隆知、楠山松之助

無罪になつた人

二十三日平檢事局下通譯

小銀治兼弘、名和友次郎
田文藏、荒川藏吉、日渡
郎、小松忠太郎、小松房松
平喜代治、大平直惠、柳田
植田町、猪狩隆知、楠山
助

圖々しい老爺

一、商業學校學則變更の件
一、小學校敷地買收費繼續年期及支出方法の件

つて
なつた人
日平検事局で通達
小銀治兼弘、名和友次郎、
田文藏、荒川藏吉、日渡秀一
郎、小松忠太郎、小松房松、
平喜代治、大平直惠、櫛田龜
助、植田町、猪狩隆知、楠山松
好間村字中好間野地勘藏(六二)
は廿一日午後一時半頃平町長坂
町酒屋渡邊富三方に至りヨツ、
酒一杯をのんで代金十錢の代
に一斗の酒樽をおき歸り途に附
近の鍛冶屋佐藤竹藏方から斧を
盗み、その足ですぐ向ひの古善
具屋に賣却せんとして掛け合
てゐる處を平署に捕はれた。

二、風の吹く夜に鐘がなる
いやな音ですあの音は
お母さんや姉さんが
毎日毎日働いて

ぬつたきものゝもえる音
いやな音ですあの音は。

三、火事はいやですこわいも
みんなで火事のないやうに
火の用心をいたしませう。

◎ 圖 畵 ▲ 一等 小名濱高一
山繁 ▲ 二等 平高一助川登 ▲ 二
本尋五島橋芳雄 ▲ 三等 好間高
二岩佐貞善 平尋五大垣退輔
農間高一鈴木正秀 ▲ 四等 豊
高一秋山豊外四名 ▲ 五等 神
高二鷹嶺繁彌外七名

◎ 綏 方 ▲ 一等 平尋六高橋富
▲ 二等 湯本尋五塙本巳之吉
好間高一大和田リノ ▲ 三等
川尋六渡邊清匡 合戸尋六
津房子 夏井高二新妻倭之
▲ 四等 磐崎尋二久保邦彦外
名 ▲ 五等 夏井尋五木田イク

△ 一 等 平第一高二
坂本政雄

この位でよかうが火事の元

實業志願が多くなり 機会は
なつて來て居り變つた志願者
巡査志願一名、映畫撮影技手
名、海外發展、武道専門學校
名等で高等商船、高等蠶糸、高
等農林、教員養成所、齒科醫
鐵道、私立大學等が相當にあ
が志望の重なるものを擧げれば
左の如くである。

▲高等學校三二名▲高等工業
學校二二名▲師範學校二部
四名▲醫學專門學校九名▲
等師範學校八名▲高等商業
學校八名▲遞信省官吏養成所
名▲樺太中學校教員養成所
名▲北海道帝大豫科二名▲
產講習所二名▲滿洲教育專門
學校二名▲實業三二名

はくはるるはー一高學はー一高學
門水三四四學業は
△ 双葉郡新山町大字身迫天野村
正(三二)は昨年春以來石城
双葉を跨にかけ衣類百數十
價七百五十圓を窃取したの
懲役五年を言渡さる。
△ 好間村中好間小川小太郎(一
一)は昨年八月賭博をなし
査に踏み込まれた際逃走中
處一月中捕はれ懲役八ヶ月
處さる。
△ 山形縣西村山郡寒河江町生
卯月禮太郎(三二七)は衣類金
を窃取し懲役三ヶ月に處さ
内郷村大字白水不動澤炭礦坑
夫長山仙三郎(四二)は金錢賭
けの賭博を開帳中捕はれ罰
八十圓を言渡さる。
△ 同村不動澤炭礦坑夫佐藤質
郎(二七)同柳沼秀吉(二五)
兩名は前記長山仙三郎と共に
賭博をなし何れも罰金二十
宛を言渡された。

五年制にならん 平商業學校

子項

之助、吉田文次郎、菜花喜一
佐藤龜五郎、永山寅吉、遠藤正春
二郎、四條雪助、新妻政次
新妻鎮二、遠藤正春、遠藤重
重、根本政次、根本新之助
遠藤竜次郎、根本長作、遠藤長次郎、遠藤豊一、鈴木傳
舟生文助、大平竹男、齋藤義
義、青天日乙次郎、小野信吉

は廿一日午後一時半頃平町長に市
町酒屋渡邊富三方に至りコツ、
酒一杯をのんで代金十錢の代
に一斗の酒樽をおき歸り途に附
近の銀治屋佐藤竹藏方から斧
盜み、その足ですぐ向ひの古
具屋に賣却せんとして掛け合
てゐる處を平署に捕はれた。

◎ 横道附属図書館
好間高一大和田リノ▲三等
川尋六渡邊清匡・合戸尋六
津房子・夏井高二新妻倭之
▲四等磐崎尋二久保邦彦外
名▲五等夏井尋五木田イク
この位でよかうが火事の元

ヨ四合子玉 横領配達夫 捕はる

▲内郷村大字白水不動澤灰礪坑夫長山仙三郎(四一)は金錢賭博を開帳中捕はれ罰八十圓を言渡さる。
▲同村不動澤灰礪坑夫佐藤質郎(二七)同柳沼秀吉(二五)兩名は前記長山仙三郎と共に賭博をなし何れも罰金二十圓を言渡された。

